

## 第 65 回 WIN 定例講演会・第 20 回人間情報学会講演会

# 『自動車と人間情報とウェアラブルへの期待』

主催：特定非営利活動法人 ウェアラブル環境情報ネット推進機構

共催：人間情報学会

後援：情報処理学会 UBI 研究会

### 【企画趣旨】

近年、センシングデバイスの小型化と情報処理技術の高度化に伴い、自動車の知能化が進んできている。主に外界センシングを用いて、高級車のみならず小型車でも制動制御を支援する機能が標準搭載されはじめ、自動運転技術の実現に一層近づいてきた。

一方、自動車を単なる移動手段とは考えず、ドライビングプレジャーという観点からも考える必要がある。

このような流れの中で生体センシング技術により自動車と人間が協調し、自動車はより安全かつ便利で楽しい個別適合移動手段としてどのような未来を描くことができるのか、本講演では学术界、メーカーの様々な視点から、人間情報とウェアラブルに期待される役割について活発に議論することとしたい。

日 時：平成 27 年 4 月 23 日（木） 13:30～17:00

会 場：東京大学 山上会館 2 階 大会議室 （東京都文京区本郷 7-3-1）

会 費：会員：1 万円、一般：1 万 5 千円、学校関係者：3 千円（資料代）

申込方法：事務局までメールにてお申込みください。（E-mail：admin@npowin.org）

人間情報学会ポスターセッション（時間：12:00～13:30 会場：山上会館 2 階大会議室前）

### ～ 講演会プログラム ～

司会 梅田 和昇 中央大学教授

13:30 - 14:20 基調講演 『高齢者の自立を支援する自律運転知能システム』

永井 正夫 氏 一般財団法人日本自動車研究所 代表理事 研究所長

14:20 - 15:00 講演 1 『ビデオカメラによる視線などの非接触ドライバー状態検知』

海老澤 嘉伸 氏 静岡大学大学院 工学研究科 教授

<休憩 10 分>

15:10 - 15:45 講演 2 『ウェアラブルでドライバの行動を予測する』

ギョルゲ ルチアン 氏 日産自動車株式会社

15:45 - 16:20 講演 3 『高度運転支援・自動運転のための環境理解技術』

二宮 芳樹 氏 名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ部門 特任教授

16:20 - 16:55 講演 4 『刺激検出課題を用いたドライバの精神的負担の評価』

内藤 宏 氏 株式会社デンソー 先端研究部 人間特性研究室

16:55 - 17:00 WIN グループ活動報告 --- WIN 理事長 板生 清

..... 講演会出席者 名刺交換会 .....

日 時：平成 27 年 4 月 23 日（木） 17:00～19:00

会 場：東京大学 山上会館 1 階 談話室

会 費：千円

1) 健康講話 『うつ病から会社を守る上司力！』

--- 吉田 たかよし 医学博士・医師

2) 名刺交換・交流会（17:30～）